



学校教育目標

自らを拓き 未来を生きる

目指す学校像「子どもたちの個々にもっている“よさ”や“可能性”をそのまま伸ばし膨らませていくことのできる学校」



子どもの願いや問いから始まる 「白紙単元学習」

「やってみたい!」「これってどうなってるの?」「こ
うやってみたらどうかな」

上諏訪小学校では、こんな子どもたちの願い・問いから始まる探究学習「白紙単元学習」を行っています。学級ごとにテーマを決め、年間通して自分たちの願いや問いを軸に学習を展開していきます。

子どもは何を願っているのか、材として何を設定し、どう展開していくか。教師も子どもと一緒に悩みながら「本物にふれる」「とことん関わる」「子どもがひとりで浸り込む」ことを大切にしようとしています。

今後も、全学級で多くの「自分らしく、とことん追究する学び」が生まれることを目指していきます。





学校教育目標

自らを拓き 未来を生きる

目指す学校像「子どもたちの個々にもっている“よさ”や“可能性”をそのまま伸ばし膨らませていくことのできる学校」

自己選択し、自己決定する 「单元内自由進度学習」

自分で取り組む課題や方法を決めて進めていく「单元内自由進度学習」に取り組んでいます。今年度は高学年で3回の单元内自由進度学習を行いました。

「これ、やってみたい!」「楽しそう!」という思いを原点に、わくわくしながら学習を進めてほしいと願い、コースを複数用意したり、魅力的な発展学習を用意したり、多様な学び方に対応できる場の設定を工夫したりしています。

子どもたちはそれぞれのやり方で、自分らしく課題に取り組んでいます。ここまでの実践でわかってきたことをもとに、今後4年生以下の学年でも、学期に1回を目標に実践を重ねていく中で「自分のわくわくを、自分らしくアウトプット」する姿を目指していきます。





学校教育目標

自らを拓き 未来を生きる

目指す学校像「子どもたちの個々にもっている“よさ”や“可能性”をそのまま伸ばし膨らませていくことのできる学校」



9年間を通して子どものよさや可能性を育む「小中一貫教育」

上諏訪小学校は、諏訪市で進める小中一貫教育「ゆめスクールプラン」の1校目として、4年前から上諏訪中学校との一貫教育を進めています。年間を通して、児童会と校友会（生徒会）が連携し、姉妹学年グループごとの交流や、委員会のコラボ企画を進めています。

また6年生の算数・外国語・家庭科と、5年生の外国語・家庭科で、中学校の教員による乗り入れ授業を行っています。今年度はさらに、中学校の陸上部による運動会リレー指導や、小学校の合唱団と中学校の音楽部による合同練習も新たに行いました。

お互いに授業を見合う小中一貫授業公開や、今後の小中一貫教育について考え合う合同会議を行う中で、子ども観、授業観をすりあわせ、より子どものよさや可能性を伸ばすことができる小中一貫教育を目指していきます。

